

平成 23 年度 福井県立大学大学院
経済・経営学研究科博士前期課程
入学者選抜試験問題(第 2 次)

専門科目

経済政策・経済史・経営学各論・会計分野

以下の問 1～問 4 の中から 1 問を選んで解答しなさい。

問 1 (経済政策)

最近、TPP 加盟については、日本の政治家や財界人も、賛成・反対意見が分かれているが、TPP の概要と意義及び日本のとるべき対策を論じなさい。

問 2 (経済史)

第 2 次世界大戦後の日本における農地政策の変遷について、次の用語を四つ以上使って説明しなさい。

地主・小作制度、農地改革、農地法、耕作者主義、高度経済成長、企業の農業参入

問 3 (経営学各論)

以下の問題のうちいずれか一題を選び、解答せよ。

- (1) 今日の経営戦略において、環境との適合性でとくに大きな問題となることにはどのようなことがあるか。自らの知るところや考えを述べよ。
- (2) マーケティングでいう STP とは、どのようなことか説明せよ。また、それは経営的にみてどのような意味があるかについても、ふれることが望ましい。
- (3) 企業経営において、人と組織のあり方はきわめて重要な問題である。そこで、今日の企業をとりまく情勢の下で、人と組織のあり方には、どのようなことが要請されているか。より具体的には、組織成員にやる気を出させ、企業に成果をもたらすには何が必要か。また、企業側としては、実際にどのような方策をとっているか。こうしたことについて、自らの知るところや考えを述べよ。

問 4 (会計)

近年、バランスト・スコアカード (Balanced Scorecard:BSC) が話題になっている。その理由を考察しなさい。